

注3

大学番号：069

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

香川大学 経済学部 経済学科

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人香川大学

平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 幸町地区統合事務センター事務課

職名・氏名 カチョウホ、サ ホシナ タモツ  
課長補佐 保科 保

電話番号 087-832-1804

（夜間） 087-832-1804

F A X 087-832-1820

e-mail jejimth1@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 経済学部

<経済学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	6
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	14
4. AC対象学部等を含む大学等の状況 . . . . .	15
5. 教員組織の状況 . . . . .	18
6. 留意事項等に対する履行状況等 . . . . .	34
7. その他全般的事項 . . . . .	35

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 香川大学

## (2) 大学名

香川大学

## (3) 大学の位置

〒760-8523  
香川県高松市幸町2-1  
(〒760-8521  
香川県高松市幸町1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(カケヒ ヨシユキ) 笥善行 (平成29年10月)		
理事	(ヤマシタ トシアキ) 山下明昭 (平成29年10月)		
学部長	(サトウ シノブ) 佐藤忍 (平成29年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経済学科 昼間コース 学士(経済学)	経済学関係	4年	240人	3年次 20人	1,000人	

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経済学科 夜間主コース 学士(経済学)	経済学関係	4年	10人	-	40人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成30年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	240人	- 人	1.05倍	左記は、経済 学部経済学科 昼間コースの みの数値
	( - )	( - )		
	[ 若干 ]	[ - ]		
志願者数	833	-		
	( - )	( - )		
	[ 11 ]	[ - ]		
受験者数	616	-		
	( - )	( - )		
	[ 11 ]	[ - ]		
合格者数	279	-		
	( - )	( - )		
	[ 6 ]	[ - ]		
B 入学者数	252	-		
	( - )	( - )		
	[ 4 ]	[ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.05			

区分	対象年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成30年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10人	- 人	0.5倍	左記は、経済 学部経済学科 夜間主コース のみの数値
	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]		
志願者数	14	-		
	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]		
受験者数	11	-		
	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]		
合格者数	5	-		
	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]		
B 入学者数	5	-		
	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]		
入学定員超過率 B/A	0.5			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生は記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**で記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		備 考
	平成30年度 春季入学	平成30年度 その他の学期	
1年次	252 [ 4 ]	- [ - ]	左記は、経済学部経済 学科昼間コースのみの 数値
2年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	252 [ 4 ] ( - )		

学 年	対象年度		備 考
	平成30年度 春季入学	平成30年度 その他の学期	
1年次	5 [ - ]	- [ - ]	左記は、経済学部経済 学科夜間主コースのみの 数値
2年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	5 [ - ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

【昼間コース】

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	252 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
合 計	252 人	0 人				

【夜間主コース】

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	5 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
合 計	5 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<経済学部経済学科(昼間コース)>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{252} = \boxed{0} \%$$

<経済学部経済学科(夜間主コース)>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経済学部 経済学科(昼間コース)>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
主題A	人生とキャリア	1-2①②③		1							16	
	主題B	歴史のなかの21世紀	1-2①②③④		1		1	1				5
		グローバル社会と異文化理解	1-2①②③④		1		3	2	1			16
		情報とコミュニケーション	1-2①②③④		1							3
		文化と科学・技術	1-2①②③④		1							16
		生命と環境	1-2①②③④		1		1					7
	人間と健康	1-2①②③④		1							37	
	主題C	地域理解(基礎)	1②④		1							2
		地域理解(講義)	1-2①②③④		1		1					11
		地域理解(実践)	1-2①②③④		2		2	1				16
	学問基礎科目	書物との出会い	1-2①②		2			2				12
		自然科学基礎実験	1-2③④		2							5
哲学		1-2①②③④		2							2	
論理学		1-2①②		2							1	
倫理学		1-2①②		2							1	
芸術		1-2①②		2							3	
心理学		1-2①②③④		2							5	
社会学		1-2①②③④		2							3	
教育学		1-2①②		2							1	
歴史学		1-2①②③④		2			1				2	
文学		1-2③④		2							1	
言語学		1-2③④		2							1	
法学		1-2①②③④		2							3	
政治学		1-2③④		2							1	
経済学		1-2①②		2			1				1	
経営学		1-2③④		2							1	
数学		1-2①②③④		2							12	
地学(講義)		1-2①②		2							4	
地学(実験)		1-2③④		2							3	
物理学(講義)		1-2①②③④		2							8	
物理学(実験)		1-2①②③④		2							6	
化学(講義)		1-2①②③④		2							4	
化学(実験)	1-2①②		2							3		
生物学(講義)	1-2①②③④		2							13		
生物学(実験)	1-2①②		2							2		
地理学	1-2③④		2				1			1		
統計学	1-2①②		2			1				2		
情報科学	1-2③④		2							2		
医学	1-2③④		2							16		
看護学	1-2①②		2							5		
大学入門ゼミ	大学入門ゼミ	1①②		2		3	9	2				
	情報リテラシー	1①②③④		2		1						
既修外国語(英語)	Communicative English I	1①②		2		1		1			20	
	Communicative English II	1③④		2		1		1			20	
	Communicative English III	2①②		1				1			28	
	Communicative English IV	2③④		1		1					27	
	Academic English I	3①②		1							3	
	Academic English II	3③④		1							4	
	初修外国語	ドイツ語 I	1①②		2							8
		ドイツ語 II	1③④		2							8
		ドイツ語 III	2①②		1							5
		ドイツ語会話 III	2①②		1							1
フランス語 I		1①②		2		1	1				2	
フランス語 II		1③④		2		1	1				2	
フランス語 III		2①②		1		1	1				1	
フランス語会話 III		2①②		1		1	1				1	
中国語 I		1①②		2			1				4	
中国語 II		1③④		2			1				5	
中国語 III	2①②		1							4		
中国語会話 III	2①②		1							1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
主題A	人生とキャリア	1-2①②③		1							17	
	主題B	歴史のなかの21世紀	1-2①②③④		1		1	3				4
		グローバル社会と異文化理解	1-2①②③④		1		1	0	0			10
		情報とコミュニケーション	1-2①②		1							8
		文化と科学・技術	1-2①②③④		1			1				24
		生命と環境	1-2①②③④		1		1					14
	人間と健康	1-2①②③④		1							21	
	主題C	地域理解(基礎)	1②④		1							2
		地域理解(講義)	1-2①②③④		1		1					17
		地域理解(実践)	1-2①②③④		2		1	0				14
	学問基礎科目	書物との出会い	1-2①②		2			0				17
		自然科学基礎実験	1-2③④		2							8
哲学		1-2①②③④		2							2	
論理学		1-2①②		2							1	
倫理学		1-2③④		2							1	
芸術		1-2①②		2							3	
心理学		1-2①②③④		2							6	
社会学		1-2①②③④		2							3	
教育学		1-2③④		2							1	
歴史学		1-2①②③④		2			0				3	
文学		1-2③④		2							1	
言語学		1-2③④		2							1	
法学		1-2①②③④		2							3	
政治学		1-2③④		2							1	
経済学		1-2③④		2			1	0			1	
経営学		1-2③④		2							1	
数学		1-2①②③④		2							13	
地学(講義)		1-2①②		2							5	
地学(実験)		1-2③④		2							3	
物理学(講義)		1-2①②③④		2							10	
物理学(実験)		1-2①②③④		2							6	
化学(講義)		1-2①②③④		2							5	
化学(実験)	1-2①②		2							2		
生物学(講義)	1-2①②③④		2							13		
生物学(実験)	1-2①②		2							2		
地理学	1-2③④		2				1			1		
統計学	1-2①②		2			1				2		
情報科学	1-2③④		2							2		
医学	1-2③④		2							1		
看護学	1-2①②		2							5		
大学入門ゼミ	大学入門ゼミ	1①②		2		9	7	1				
	情報リテラシー	1①②③④		2		1						
既修外国語(英語)	Communicative English I	1①②		2		1	1	0			21	
	Communicative English II	1③④		2		1	1	0			20	
	Communicative English III	2①②		1			1	0			25	
	Communicative English IV	2③④		1		1					26	
	Academic English I	3①②		1							3	
	Academic English II	3③④		1							3	
	初修外国語	ドイツ語 I	1①②		2							7
		ドイツ語 II	1③④		2							7
		ドイツ語 III	2①②		1							5
		ドイツ語会話 III	2①②		1							1
フランス語 I		1①②		2		1	1				2	
フランス語 II		1③④		2		1	1				2	
フランス語 III		2①②		1		1	1				1	
フランス語会話 III		2①②		1		1	1				1	
中国語 I		1①②		2			1				4	
中国語 II		1③④		2		1	1				4	
中国語 III	2①②		1							3		
中国語会話 III	2①②		1							1		



科目区分	授業科目の名称	記号	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
初修外国語 コミュニケーション科目 健康・スポーツ実技	韓国語Ⅰ	1①~②	2			1				2		
	韓国語Ⅱ	1③~④	2			1				2		
	韓国語Ⅲ	2①~②	1							1		
	韓国語会話Ⅲ	2①~②	1							1		
	健康・スポーツ実技	1①~②③~④	1							16		
	高度教養主題科目	防災ボランティア講座	2①~②	2							4	
		防災ボランティア実習	2③~④	2							3	
		医療と法	2③~④	2							2	
		海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1-2-3-4②	1							3	
		サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1-2-3-4②	1							2	
		高度教養教育科目・広範教養教育科目	上級英語 (Study Abroad)	1-2-3-4③~④	2							1
			ラテン語初歩Ⅰ	1-2-3-4①~②	1							1
			ラテン語初歩Ⅱ	1-2-3-4③~④	1							1
			知プロe科目 大学の知の活用	1-2-3-4③~④	2							1
			知プロe科目 行動統計学入門	1-2-3-4③~④	2							1
	知プロe科目 行動学概論		1-2-3-4③~④	2							1	
主 題 教 養 主 題 科 目	知プロe科目 大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 健康で暮らす・豊かで働くを生きる	1-2-3-4①~②	1							1		
	知プロe科目 数値科学の世界	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 子どもと学校	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 情報社会のくらし	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 デジタルものづくり入門	1-2-3-4①~②	1							1		
	知プロe科目 アフタープレゼンテーション (PowerPoint)	1-2-3-4③~④	1							1		
	知プロe科目 私たちの生活と材料	1-2-3-4③~④	1							1		
	知プロe科目 和算の世界	1-2-3-4③~④	1							1		
	知プロe科目 研究倫理	1-2-3-4③~④	1							1		
学部基礎科目	経済学入門	1③~④	2			2						
	経済史入門	1①~②	2			1						
	ミクロ経済学Ⅰ	2①~②	2			2						
	マクロ経済学Ⅰ	2①~②	2			2						
	ミクロ経済学Ⅱ	2③~④	2			1						
	マクロ経済学Ⅱ	2③~④	2			1						
	簿記入門	1①~②	2			1	1					
	原価会計論	1③~④	2			1						
	現代企業論	1③~④	2			1						
	経営管理論	1①~②	2				1					
学部開設科目	経営戦略論	2①~②	2									
	マーケティング論A	2①~②	2			1						
	統計学入門	1①~②	2			3						
	統計学	1③~④	2			3						
学部専門科目	社会調査法	1①~②	2			3	1					
	地域調査法	1①~②	2			1						
	政治経済学Ⅰ	2①~②	2			1						
	計量経済学Ⅰ	2①~②	2			1						
	経済政策	2①~②	2			1						
	社会政策A	2③~④	2			1						
	会計学総論	2①~②	2			1						
	金融論Ⅰ	2①~②	2				1					
	リスクと保険	2③~④	2			1						
	財政学A	2①~②	2			1						
学部開設科目	企業倫理	2①~②	2					0	1			
	経営組織論	2①~②	2					1				
	人的資源管理論A	2③~④	2			1						
	流通システム論A	2③~④	2			1						

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
初修外国語 コミュニケーション科目 健康・スポーツ実技	韓国語Ⅰ	1①~②	2			1				2		
	韓国語Ⅱ	1③~④	2			1				2		
	韓国語Ⅲ	2①~②	1							1		
	韓国語会話Ⅲ	2①~②	1							1		
	健康・スポーツ実技	1①~②③~④	1							18		
	高度教養主題科目	防災ボランティア講座	2①~②	2							3	
		防災ボランティア実習	2③~④	2							2	
		医療と法	2③~④	2							2	
		海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1-2-3-4②	1							2	
		サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1-2-3-4②	1							2	
		高度教養教育科目・広範教養教育科目	上級英語 (Study Abroad)	1-2-3-4③~④	2							1
			ラテン語初歩Ⅰ (隔年開講)	1-2-3-4①~②	1							1
			ラテン語初歩Ⅱ (隔年開講)	1-2-3-4③~④	1							1
			知プロe科目 大学の知の活用	1-2-3-4③~④	2							1
			知プロe科目 行動統計学入門	1-2-3-4③~④	2							1
	知プロe科目 行動学概論		1-2-3-4③~④	2							1	
主 題 教 養 主 題 科 目	知プロe科目 大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 健康で暮らす・豊かで働くを生きる	1-2-3-4①~②	1							1		
	知プロe科目 数値科学の世界	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 子どもと学校	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 情報社会のくらし	1-2-3-4③~④	2							1		
	知プロe科目 デジタルものづくり入門	1-2-3-4①~②	1							1		
	知プロe科目 アフタープレゼンテーション (PowerPoint)	1-2-3-4③~④	1							1		
	知プロe科目 私たちの生活と材料	1-2-3-4③~④	1							1		
	知プロe科目 和算の世界	1-2-3-4③~④	1							1		
	知プロe科目 研究倫理	1-2-3-4③~④	1							1		
学部基礎科目	経済学入門	1③~④	2					3				
	経済史入門	1①~②	2			1						
	ミクロ経済学Ⅰ	2①~②	2			2						
	マクロ経済学Ⅰ	2①~②	2			2		1	1			
	ミクロ経済学Ⅱ	2③~④	2			1						
	マクロ経済学Ⅱ	2③~④	2			1						
	簿記入門	1①~②	2			1	1					
	原価会計論	1③~④	2			1						
	現代企業論	1③~④	2			1						
	経営管理論	1①~②	2				1	0				
学部開設科目	経営戦略論	2①~②	2					1				
	マーケティング論A	2①~②	2			1						
	統計学入門	1①~②	2			3						
	統計学	1③~④	2			3						
学部専門科目	社会調査法	1①~②	2			3	1					
	地域調査法	1①~②	2			0				1		
	政治経済学Ⅰ	2①~②	2			1						
	計量経済学Ⅰ	2①~②	2			1						
	経済政策	2①~②	2			1						
	社会政策A	2③~④	2			1						
	会計学総論	2①~②	2			1						
	金融論Ⅰ	2①~②	2				1					
	リスクと保険	2③~④	2			1						
	財政学A	2①~②	2			1						
学部開設科目	企業倫理	2①~②	2					0	1			
	経営組織論	2①~②	2					1				
	人的資源管理論A	2③~④	2			1						
	流通システム論A	2③~④	2			0			1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
学部専門科目	観光学概論	1③~④	2			1				
	観光産業論	2①~②	2				1			
	地域活性化論	2①~②	2			1				
	まちづくり論	2③~④	2				1			
	グローバル社会概論	1③~④	2			1				
	アジア経済論	2③~④	2			1				
	アメリカ経済論	2③~④	2			2				
	ヨーロッパ経済論	2①~②	2				1			
	経済数学	2③~④	2			1				
	政治経済学Ⅱ	2③~④	2			1				
計量経済学Ⅱ	2③~④	2			1					
社会政策B	3①~②	2			1					
財政学B	2③~④	2			1					
日本社会経済史	2③~④	2				1				
金融論Ⅱ	2③~④	2				1				
上級ミクロ経済学	3①~②	2			2					
上級マクロ経済学	3③~④	2			2					
経済統計	3①~②	2			1					
公共経済学	3①~②	2				1				
地域経済学	3①~②	2				1				
国際経済学A	3①~②	2				1				
国際経済学B	3③~④	2				1				
福祉経済論	3①~②	2			1					
金融政策Ⅰ	3①~②	2				1				
金融政策Ⅱ	3③~④	2				1				
管理会計論	2③~④	2			1					
調査データ分析Ⅰ	2③~④	2				1				
財政学B	2③~④	2			1					
金融論Ⅱ	2③~④	2				1				
株式会社社会計	3①~②	2			1					
財務会計論A	2③~④	2			1					
財務会計論B	3③~④	2			1					
社会政策B	3①~②	2			1					
監査論	3③~④	2			1					
原価計算論	3①~②	2			1					
コスト・マネジメント論	3①~②	2			1					
保険システム論	3①~②	2			1					
金融政策Ⅰ	3①~②	2				1				
金融政策Ⅱ	3③~④	2				1				
中小企業経営論	3③~④	2			1					
調査データ分析Ⅱ	3①~②	2				1				
経営財務論	3①~②	2			1					
経営史	3①~②	2			1					
経営学史	2③~④	2			1					
イノベーション論	2③~④	2				1				
マーケティング論B	2③~④	2			1					
環境システム論	2③~④	2			1					
商品システム論	2③~④	2			1					
資源エネルギー論	3①~②	2			1					
調査データ分析Ⅰ	2③~④	2				1				
管理会計論	2③~④	2			1					
人的資源管理論B	3①~②	2			1					
中小企業経営論	3③~④	2				1				
グローバル経営論	2③~④	2			1					
グローバル・マーケティング論	3①~②	2			1					
サービス・マーケティング論	3③~④	2			1					
流通システム論B	3①~②	2			1					
調査データ分析Ⅱ	3①~②	2				1				
商品実験	3①~②	2			1					
観光経済学	2③~④	2			1					
観光地理学	2③~④	2				1				
観光政策論	3①~②	2			1					
マーケティング論B	2③~④	2			1					
環境システム論	2③~④	2			1					
国際観光論	3①~②	2				1				
エコツーリズム論	2③~④	2			1					
地域研究論	2③~④	2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
学部専門科目	観光学概論	1③~④	2			0				1
	観光産業論	2①~②	2				1			
	地域活性化論	2①~②	2			1				
	まちづくり論	2③~④	2				1	0		
	グローバル社会概論	1③~④	2			1				
	アジア経済論	2③~④	2			1				
	アメリカ経済論	2③~④	2			2				
	ヨーロッパ経済論	2①~②	2				1			
	経済数学	2③~④	2			1				
	政治経済学Ⅱ	2③~④	2			1				
計量経済学Ⅱ	2③~④	2			1					
社会政策B	3①~②	2			1					
財政学B	2③~④	2			1					
日本社会経済史	2③~④	2				1				
金融論Ⅱ	2③~④	2				1				
上級ミクロ経済学	3①~②	2			2					
上級マクロ経済学	3③~④	2			1	1				
経済統計	3①~②	2			1					
公共経済学	3①~②	2				1				
地域経済学	3①~②	2				1				
国際経済学A	3①~②	2				1				
国際経済学B	3③~④	2				1				
福祉経済論	3①~②	2			1					
金融政策Ⅰ	3①~②	2				1				
金融政策Ⅱ	3③~④	2				1				
管理会計論	2③~④	2			1					
調査データ分析Ⅰ	2③~④	2				1	0			
財政学B	2③~④	2			1					
金融論Ⅱ	2③~④	2				1				
株式会社社会計	3①~②	2			1					
財務会計論A	2③~④	2				1				
財務会計論B	3③~④	2				1				
社会政策B	3①~②	2			1					
監査論	3③~④	2			1					
原価計算論	3①~②	2			1					
コスト・マネジメント論	3①~②	2			1					
保険システム論	3①~②	2			1					
金融政策Ⅰ	3①~②	2				1				
金融政策Ⅱ	3③~④	2				1				
中小企業経営論	3③~④	2			1					
調査データ分析Ⅱ	3①~②	2				1	0			
経営財務論	3①~②	2			1					
経営史	3①~②	2			1					
経営学史	2③~④	2				0	1			
イノベーション論	2③~④	2					1			
マーケティング論B	2③~④	2			1					
環境システム論	2③~④	2			1					
商品システム論	2③~④	2			1					
資源エネルギー論	3①~②	2			1					
調査データ分析Ⅰ	2③~④	2				1	0			
管理会計論	2③~④	2			1					
人的資源管理論B	3①~②	2			1					
中小企業経営論	3③~④	2				1				
グローバル経営論	2③~④	2			1					
グローバル・マーケティング論	3①~②	2			1					
サービス・マーケティング論	3③~④	2			1					
流通システム論B	3①~②	2			0		1			
調査データ分析Ⅱ	3①~②	2				1	0			
商品実験	3①~②	2			1					
観光経済学	2③~④	2			1					
観光地理学	2③~④	2				1				
観光政策論	3①~②	2			0		1			
マーケティング論B	2③~④	2			1					
環境システム論	2③~④	2			1					
国際観光論	3①~②	2				1				
エコツーリズム論	2③~④	2			1					
地域研究論	2③~④	2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必	選	自	教	准	講	助	助			
												修	択
学部開設科目	観光・地域振興	サービス・マーケティング論	3③~④	2			1						
		地域活性化プロジェクトⅠ	2③~④	2		2	1						
		地域活性化プロジェクトⅡ	3③~④	2		2	1						
		地域活性化プロジェクトⅢ	4③~④	2		2	1						
		公共経済学	3①~②	2						1			
	地域経済学	3①~②	2						1				
	グローバル社会経済	国際社会学	3①~②	2			1						
		文化人類学	2③~④	2			1						
		異文化間コミュニケーション論	3①~②	2			1						
		アジア社会論	3①~②	2			1						
		アジア文化論	2③~④	2			1						
		アメリカ社会文化論	2③~④	2			1						
		比較近代化論	2③~④	2			1						
		ヨーロッパ社会論	2③~④	2			1						
		ヨーロッパ文化論	3①~②	2			1						
		日本社会経済史	2③~④	2			1						
		国際経済学A	3①~②	2						1			
		国際経済学B	3③~④	2						1			
		グローバル経営論	2③~④	2			1						
	グローバル・マーケティング論	3①~②	2			1							
外国語演習Ⅰ	2③~④	2			1	1							
外国語演習Ⅱ	3①~②	2			1	1							
コース概説科目	2①~②	2			5								
選択科目	現代経済社会事情	2③~④	2			1							
	ビジネス英語Ⅰ	3①~②	2								1		
	ビジネス英語Ⅱ	3③~④	2								1		
	インターンシップ	3選	2			-	-	-	-	-	-		
上記4科目を除く全開講科目													
卒業演習・卒業論文	プロゼミナール	2後	2			25	17	7					
	演習	3選	4			25	17	7					
	個別演習	4選	4			25	17	7					
	卒業論文	4選	4			25	17	7					
科課程	商業教育法	2①~②			2							1	
	商業授業研究	2③~④			2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
												修
学部開設科目	観光・地域振興	サービス・マーケティング論	3③~④	2			1					
		地域活性化プロジェクトⅠ	2③~④	2		3	0					
		地域活性化プロジェクトⅡ	3③~④	2		3	0					
		地域活性化プロジェクトⅢ	4③~④	2		3	0					
		公共経済学	3①~②	2						1		
	地域経済学	3①~②	2						1			
	グローバル社会経済	国際社会学	3①~②	2			1					
		文化人類学	2③~④	2			1					
		異文化間コミュニケーション論	3①~②	2			1					
		アジア社会論	3①~②	2			1					
		アジア文化論	2③~④	2			1					
		アメリカ社会文化論	2③~④	2			1					
		比較近代化論	2③~④	2			1					
		ヨーロッパ社会論	2③~④	2			1					
		ヨーロッパ文化論	3①~②	2			1					
		日本社会経済史	2③~④	2			1					
		国際経済学A	3①~②	2						1		
		国際経済学B	3③~④	2						1		
		グローバル経営論	2③~④	2			1					
	グローバル・マーケティング論	3①~②	2			1						
外国語演習Ⅰ	2③~④	2			1	1						
外国語演習Ⅱ	3①~②	2			1	1						
コース概説科目	2①~②	2			5							
選択科目	現代経済社会事情	2③~④	2			0	3					
	ビジネス英語Ⅰ	3①~②	2								1	
	ビジネス英語Ⅱ	3③~④	2								1	
	インターンシップ	3選	2			-	-	-	-	-	-	
上記4科目を除く全開講科目												
卒業演習・卒業論文	プロゼミナール	2後	2			25	15	9				
	演習	3選	4			25	15	9				
	個別演習	4選	4			25	15	9				
	卒業論文	4選	4			25	15	9				
科課程	商業教育法	2①~②			2							1
	商業授業研究	2③~④			2							1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

【全学共通科目】

- ・クラス編成により「人生とキャリア」の担当教員を追加（兼任・兼任16→17）
- ・カリキュラム内容充実及びクラス編成のため「歴史の中の21世紀」の担当教員を変更（准教授1→3、兼任・兼任5→4）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「グローバル社会と異文化理解」の担当教員を変更（教授3→1、准教授2→0、講師1→0、兼任・兼任16→10）
- ・カリキュラム編成の都合上、「情報とコミュニケーション」の開講学期を変更（1・2①②③④→1・2①②）
- ・カリキュラム内容充実のため「情報とコミュニケーション」担当教員を追加（兼任・兼任3→8）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「文化と科学・技術」担当教員を変更（准教授0→1、兼任・兼任16→24）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「生命と環境」担当教員を変更（兼任・兼任7→14）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「人間と健康」担当教員を変更（兼任・兼任37→21）
- ・カリキュラム内容充実及びクラス編成のため「地域理解（講義）」担当教員を追加（兼任・兼任11→17）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「地域理解（実践）」担当教員を変更（教授2→1、准教授1→0、兼任・兼任16→14）
- ・クラス編成のため「書物との出会い」担当教員を変更（准教授2→0、兼任・兼任12→17）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「自然科学基礎実験」担当教員を追加（兼任・兼任5→8）
- ・カリキュラム編成の都合上、「倫理学」の開講学期を変更（1・2①②→1・2③④）
- ・クラス編成のため「心理学」担当教員を追加（兼任・兼任5→6）
- ・カリキュラム編成の都合上、「教育学」の開講学期を変更（1・2①②→1・2③④）
- ・クラス編成のため「歴史学」担当教員を変更（准教授1→0、兼任・兼任2→3）
- ・カリキュラム編成の都合上、「政治学」の開講学期を変更（1・2③④→1・2①②）
- ・カリキュラム内容充実及びカリキュラム編成の都合上、「経済学」担当教員及び開講学期を変更（教授0→1、准教授1→0、1・2①②→1・2③④）
- ・カリキュラム内容充実及びクラス編成のため「数学」担当教員を追加（兼任・兼任12→13）
- ・カリキュラム内容調整のため「地学（講義）」担当教員を追加（兼任・兼任4→5）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「物理学（講義）」担当教員を追加（兼任・兼任8→10）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「化学（講義）」担当教員を追加（兼任・兼任4→5）
- ・カリキュラム内容調整のため「化学（実験）」担当教員を変更（兼任・兼任3→2）
- ・カリキュラム内容調整のため「医学」担当教員を変更（兼任・兼任16→1）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「大学入門ゼミ」担当教員を変更（教授3→9、准教授9→7、講師2→1）
- ・クラス編成のため「情報リテラシー」の配当年次を変更（1①②③④→1①②）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「Communicative English I」担当教員を変更（准教授0→1、講師1→0、兼任・兼任20→21）
- ・講師が准教授へ昇任したことにより、「Communicative English II」担当教員を変更（准教授0→1、講師1→0）
- ・カリキュラム内容調整及びクラス編成のため「Communicative English III」担当教員を変更（准教授0→1、講師1→0、兼任・兼任28→25）
- ・カリキュラム内容調整のため「Communicative English IV」担当教員を変更（兼任・兼任27→26）
- ・誤謬により「Academic English II」の配当年次を訂正（3①②③④→3①②③④）
- ・カリキュラム内容調整のため「Academic English II」担当教員を変更（兼任・兼任4→3）
- ・クラス編成のため「ドイツ語 I」担当教員を変更（兼任・兼任8→7）
- ・クラス編成のため「ドイツ語 II」担当教員を変更（兼任・兼任8→7）
- ・クラス編成のため「中国語 II」担当教員を変更（教授0→1、兼任・兼任5→4）
- ・クラス編成のため「中国語 III」担当教員を変更（兼任・兼任4→3）
- ・クラス編成のため「韓国語 III」担当教員を変更（兼任・兼任2→1）
- ・クラス編成のため「健康・スポーツ実技」担当教員を変更（兼任・兼任16→18）
- ・カリキュラム内容調整のため「防災ボランティア講座」担当教員を変更（兼任・兼任4→3）
- ・カリキュラム内容調整のため「防災ボランティア実習」担当教員を変更（兼任・兼任3→2）
- ・カリキュラム内容調整のため「海外体験型異文化コミュニケーション II」担当教員を変更（兼任・兼任3→2）
- ・四国地区における「5国立大学連携構想」の中の大学教育共同実施に伴い、高度教養主科目に「知ブラe科目」（「海洋基礎生態学」、「インドネシアの文化と会話」、「海洋地球科学概論」、「有機化学概論 初級」、「有機化学概論 中級」）を追加しカリキュラムを充実させた。
- ・カリキュラム編成の都合上、「上級英語（Study Abroad）」の開講学期を変更（1・2・3・4③④→1・2・3・4①②）
- ・誤謬により「知ブラe科目 自動車概論」の単位数を訂正（2→1）
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 自動車概論」の単位数を変更（2→1）
- ・四国地区における「5国立大学連携構想」の中の大学教育共同実施に伴い、広範教養主科目に「知ブラe科目」（「徳島で暮らす・徳島で働くを考える」、「数理科学の世界」、「子どもと学校」、「情報社会のくらし」、「デジタルものづくり入門」、「アカデミック・プレゼンテーション（PowerPoint編）」、「私たちの生活と材料」、「和算の世界」、「研究倫理」、「インタフェースデザイン概論」、「大学生活入門」、「学びの統合入門」、「アクティブラーニング入門」、「キャリアで活かすITリテラシー」）を追加しカリキュラムを充実させた。

【学部開設科目】

- ・カリキュラム内容充実のため「経済学入門」担当教員を変更（准教授2→3）
- ・准教授が教授へ昇任したことにより、「マクロ経済学 I」担当教員を変更（教授0→1、准教授2→1）
- ・講師が准教授へ昇任したことにより、「経営管理論」担当教員を変更（准教授0→1、講師1→0）
- ・担当の教授が割愛され非常勤講師として担当するため、「地域調査法」担当教員を変更（教授1→0、兼任・兼任0→1）
- ・担当の准教授が割愛され平成31年度採用予定の講師が担当するため、「企業倫理」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更し、「講師」を「0」から「1」に変更
- ・担当の教授が割愛され平成31年度採用予定の講師が担当するため、「流通システム論 A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更し、「講師」を「0」から「1」に変更
- ・担当の教授が割愛され非常勤講師として担当するため、「観光学概論」担当教員を変更（教授1→0、兼任・兼任0→1）
- ・准教授が教授へ昇任したことにより、「まちづくり論」担当教員を変更（教授0→1、准教授1→0）
- ・准教授が教授へ昇任したことにより、「上級マクロ経済学」担当教員を変更（教授0→1、准教授2→1）
- ・講師が准教授へ昇任したことにより、「調査データ分析 I」及び「調査データ分析 II」の担当教員を変更（准教授0→1、講師1→0）
- ・担当の准教授が割愛され平成31年度採用予定の講師が担当するため、「経営学史」担当教員を変更（准教授1→0、講師0→1）
- ・担当の教授が割愛され平成32年度採用予定の講師が担当するため、「流通システム論 B」担当教員を変更（教授1→0、講師0→1）
- ・担当の教授が割愛され平成32年度採用予定の講師が担当するため、「観光政策論」担当教員を変更（教授1→0、講師0→1）
- ・准教授が教授へ昇任したことにより、「地域活性化プロジェクト I・II・III」担当教員を変更（教授2→3、准教授1→0）
- ・カリキュラム内容充実のため「現代経済社会事情」担当教員を変更（教授1→0、准教授0→3）
- ・未就任等により「プロゼミナール」「演習」「個別演習」「卒業論文」担当教員を変更（准教授17→15、講師7→9）

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	179 科目	2 科目	186 科目	5 科目 [ 0 ]	198 科目 [ 19 ]	2 科目 [ 0 ]	205 科目 [ 19 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

2 授業科目の概要

<経済学部 経済学科(夜間主コース)>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	主題科目	「歴史の中の21世紀」	1-2①・②・③・④	2								1
		「グローバル社会と異文化理解」	1-2①・②・③・④	2								1
		「情報とコミュニケーション」	1-2①・②・③・④	2								1
		「文化と科学・技術」	1-2①・②・③・④	2								4
		「生命と環境」	1-2①・②・③・④	2								1
		「人間と健康」	1-2①・②・③・④	2								5
	学問基礎科目	哲学	1-2①・②・③・④	2								1
		心理学	1-2①・②・③・④	2								4
		社会学	1-2①・②・③・④	2								1
		歴史学	1-2①・②・③・④	2								1
		政治学	1-2①・②・③・④	2								1
		地学	1-2①・②・③・④	2								1
		物理学	1-2①・②・③・④	2								1
化学		1-2①・②・③・④	2								3	
生物学		1-2①・②・③・④	2								1	
地理学		1-2①・②・③・④	2								1	
情報科学	1-2①・②・③・④	2								2		
放送大学開講科目	1-2①・②・③・④	2										
コミュニケーション科目	大学入門ゼミ	①①	2				1					
	情報リテラシー	①①	2			1						
	英語Ⅰ	1-2①~②	2								1	
	英語Ⅱ	1-2③~④	2								1	
	英語Ⅲ	1-2①~②	2								1	
	健康・スポーツ実技	1-2①・②・③・④	2								1	
基礎科目	経済学入門A	①②	2				1					
	経済学入門B	①①	2				1				1	
	経営学	①①	2								1	
	会计学	①②	2				1					
	法学入門	①①	2								1	
学部開設科目	経済・経営学科	数理経済学	2-3-4①・②・③・④	2				1				
		統計学	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		経済政策	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		社会政策	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		福祉経済論	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		国際経済学	2-3-4①・②・③・④	2					1			
		財政学	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		公共経済学	2-3-4①・②・③・④	2					1			
		金融論	2-3-4①・②・③・④	2				1				
		金融政策	2-3-4①・②・③・④	2					1			
		アジア経済論	2-3-4①・②・③・④	2			1					
	企業倫理	2-3-4①・②・③・④	2				1					
	現代企業論	2-3-4①・②・③・④	2			1						
	リスク・マネジメント論	2-3-4①・②・③・④	2			1						
	環境システム論	2-3-4①・②・③・④	2			1						
	人的資源管理論	2-3-4①・②・③・④	2				1					
	経営管理論	2-3-4①・②・③・④	2				1					
	経営戦略論	2-3-4①・②・③・④	2				1					
	イノベーション論	2-3-4①・②・③・④	2					1				
	流通マーケティング論	2-3-4①・②・③・④	2			1						
	生産管理システム論	2-3-4①・②・③・④	2								1	
	企業会計A	2-3-4①・②・③・④	2			1						
	企業会計B	2-3-4①・②・③・④	2			1						
日本社会経済史	2-3-4①・②・③・④	2				1						
観光学	2-3-4①・②・③・④	2			1							
地域活性化論	2-3-4①・②・③・④	2			1							
社会と文化	2-3-4①・②・③・④	2			1							
ヨーロッパ文化論	2-3-4①・②・③・④	2				1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	主題科目	「歴史の中の21世紀」	1-2①	2					1			0
		「グローバル社会と異文化理解」	1-2③・④	2					1			1
		「情報とコミュニケーション」	1-2①・②・③・④	2								1
		「文化と科学・技術」	1-2①・②・③・④	2								4
		「生命と環境」	1-2①	2								2
		「人間と健康」	1-2①・②・③・④	2								5
	学問基礎科目	哲学	1-2①・②・③・④	2								1
		心理学	1-2①・②・③・④	2								4
		社会学	1-2①・②・③・④	2								1
		歴史学	1-2②	2								1
		政治学	1-2①・②・③・④	2								1
		地学	1-2①・②・③・④	2								1
		物理学	1-2①・②・③・④	2								1
化学		1-2①・②・③・④	2								3	
生物学		1-2①・②・③・④	2								1	
地理学		1-2①・②・③・④	2								1	
情報科学	1-2①・②・③・④	2								2		
倫理学	1-2③	2								1		
医学	1-2①	2								1		
コミュニケーション科目	大学入門ゼミ	①①	2								1	
	情報リテラシー	①①	2			1						
	英語Ⅰ	1-2①~②	2								1	
	英語Ⅱ	1-2③~④	2								1	
	英語Ⅲ	1-2①~②	2								1	
	健康・スポーツ実技	1-2③・④	2								1	
基礎科目	経済学入門A	①②	2					1				
	経済学入門B	①①	2					1	0			
	経営学	①①	2								1	
	会计学	①②	2					1				
	法学入門	①①	2								1	
学部開設科目	経済・経営学科	数理経済学	2-3-4①・②・③・④	2				1				
		統計学	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		経済政策	1-2-3-4①・②・③・④	2			1					
		社会政策	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		福祉経済論	1-2-3-4①・②・③・④	2			1					
		国際経済学	1-2-3-4①・②・③・④	2					1	0		
		財政学	2-3-4①・②・③・④	2			1					
		公共経済学	2-3-4①・②・③・④	2							1	
		金融論	2-3-4①・②・③・④	2				1				
		金融政策	2-3-4①・②・③・④	2					1			
		アジア経済論	2-3-4①・②・③・④	2			1					
	企業倫理	2-3-4①・②・③・④	2				0			1		
	現代企業論	2-3-4①・②・③・④	2			1						
	リスク・マネジメント論	1-2-3-4①・②・③・④	2			1						
	環境システム論	2-3-4①・②・③・④	2			1						
	人的資源管理論	2-3-4①・②・③・④	2				1	0				
	経営管理論	1-2-3-4①・②・③・④	2				1	0				
	経営戦略論	2-3-4①・②・③・④	2				1					
	イノベーション論	2-3-4①・②・③・④	2							1		
	流通マーケティング論	1-2-3-4①・②・③・④	2					0		1		
	生産管理システム論	2-3-4①・②・③・④	2								1	
	企業会計A	1-2-3-4①・②・③・④	2			1						
	企業会計B	1-2-3-4①・②・③・④	2			1						
日本社会経済史	1-2-3-4①・②・③・④	2					1					
観光学	2-3-4①・②・③・④	2			1							
地域活性化論	2-3-4①・②・③・④	2			1							
社会と文化	2-3-4①・②・③・④	2			1							
ヨーロッパ文化論	1-2-3-4①・②・③・④	2				1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部開設科目	国際関係論	2・3・4①・②・③・④	2								1
	政治史	2・3・4①・②・③・④	2								1
	行政学	2・3・4①・②・③・④	2								1
	アジア・太平洋社会論	2・3・4①・②・③・④	2								1
	商法総則・商行為法	2・3・4①・②・③・④	2								1
	会社法Ⅰ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	会社法Ⅱ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	保険法	2・3・4①・②・③・④	2								1
	民法Ⅱ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	民法Ⅲ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	租税法	2・3・4①・②・③・④	2								1
	社会保障法	2・3・4①・②・③・④	2								1
	労働法	2・3・4①・②・③・④	2								1
	特別講義	2・3・4①・②・③・④	2								1
卒業演習・卒業研究	演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	3通 4通 4通	4 4 4		1 1 -						

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部開設科目	国際関係論	2・3・4①・②・③・④	2								1
	政治史	2・3・4①・②・③・④	2								1
	行政学	2・3・4①・②・③・④	2								1
	アジア・太平洋社会論	1・2・3・4①・②・③・④	2								1
	商法総則・商行為法	1・2・3・4①・②・③・④	2								1
	会社法Ⅰ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	会社法Ⅱ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	保険法	1・2・3・4①・②・③・④	2								1
	民法Ⅱ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	民法Ⅲ	2・3・4①・②・③・④	2								1
	租税法	2・3・4①・②・③・④	2								1
	社会保障法	1・2・3・4①・②・③・④	2								1
	労働法	2・3・4①・②・③・④	2								1
	特別講義	2・3・4①・②・③・④	2								1
放送大学開講科目	放送大学開講科目	1・2①・②・③・④	2								
卒業演習・卒業研究	演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	3通 4通 4通	4 4 4		1 1 -						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 ・ 認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>【全学共通科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム編成の都合及び指導体制充実のため、「歴史の中の21世紀」の配当年度を「1・2①・②・③・④」から「1・2④」に変更及び担当教員を変更(准教授0→1、兼任1→0)</li> <li>・カリキュラム編成の都合及び指導体制充実のため、「グローバル社会と異文化理解」の配当年度を「1・2①・②・③・④」から「1・2③・④」に変更及び担当教員を変更(教授0→1)</li> <li>・カリキュラム編成の都合及び指導体制充実のため、「生命と環境」の配当年度を「1・2①・②・③・④」から「1・2①」に変更及び担当教員を変更(兼任・兼任1→2)</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「歴史学」の配当年度を「1・2①・②・③・④」から「1・2②」に変更</li> <li>・カリキュラム内容調整のため、「倫理学」を追加開講</li> <li>・カリキュラム内容調整のため、「医学」を追加開講</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「健康・スポーツ実技」の配当年度を「1・2①・②・③・④」から「1・2③・④」に変更</li> </ul> <p>【学部開設科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導体制充実のため、「経済学入門B」の担当教員を変更(教授0→1、准教授1→0)</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「経済政策」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「福祉経済論」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合及び指導体制充実のため、「国際経済学」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更及び担当教員を変更(教授0→1、講師1→0)</li> <li>・担当の教授が割愛され平成31年度採用予定の講師が担当するため、「企業倫理」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更し、「講師」を「0」から「1」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「リスク・マネジメント論」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・准教授が教授へ昇任したことにより、「人的資源管理論」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」から「教授1」「准教授0」に変更</li> <li>・准教授が教授へ昇任したこと及びカリキュラム編成の都合により、「経営管理論」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」から「教授1」「准教授0」に変更及び配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・担当の教授が割愛され准教授が担当するため、「流通マーケティング論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更し、「准教授」を「0」から「1」に変更及び配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「企業会計A」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「企業会計B」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「日本社会経済史」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合及び指導体制充実のため、により、「ヨーロッパ文化論」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更及び担当教員を変更(教授0→1)</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「アジア・太平洋社会論」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「商法総則・商行為法」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「保険法」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> <li>・カリキュラム編成の都合により、「社会保障法」の配当年度を「2・3・4①・②・③・④」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更</li> </ul>
--

- (注) ・ 変更内容(配当年度の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	73 科目	0 科目	74 科目	1 科目 [ 0 ]	75 科目 [ 2 ]	0 科目 [ 0 ]	76 科目 [ 2 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
未開講科目なし							

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
廃止科目なし							

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

<経済学部経済学科(昼間コース)>

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{203} = \boxed{0}\%$$

<経済学部経済学科(夜間主コース)>

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{76} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の内、10,148 ㎡を香川県より借用 (毎年更新)					
	校 舎 敷 地	165,625㎡	0㎡	0㎡	165,625㎡						
	運 動 場 用 地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡						
	小 計	246,606㎡	0㎡	0㎡	246,606㎡						
	そ の 他	704,405㎡	0㎡	0㎡	704,405㎡						
	合 計	951,011㎡	0㎡	0㎡	951,011㎡						
(2) 校 舎	専 用	170,034㎡	0㎡	0㎡	170,034㎡						
	(170,034㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(170,034㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	10室		29室	0室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	経済学部 経済学科			51 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
		冊	種	[うち外国書]					点	点	点
		経済学部経済学科	868,430 [268,272] (868,430 [268,272])	25,545 [7,342] (25,545 [7,342])					5,566 [4,180] (5,566 [4,180])	9,120 (9120)	0 (0)
計	868,430 [268,272] (868,430 [268,272])	25,545 [7,342] (25,545 [7,342])	5,566 [4,180] (5,566 [4,180])	9,120 (9120)	0 (0)	1,033 (1,033)					
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	11,506㎡		966席		1,104,000冊						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要			大学全体					
	5,577㎡		運動場 5面 テニスコート 14面								
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円			
		共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要		—								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	香川大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.01	平成15年度	香川県高松市幸町1番1号	
人間発達環境課程	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
法学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は夜間主コース
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	学士 (法学)	1.07	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0.55	平成15年度	同上	
経済学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
経済学科(昼)	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	学士 (経済学)	1.05	平成30年度	香川県高松市幸町2番1号	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
(夜)		10	-	40		0.50	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
医学部									
医学科	6	109	2年次5	623	学士 (医学)	1.00	平成15年度	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成21・22・24・25・30年度入学定員増による学年進行
看護学科	4	60	3年次10	260	学士 (看護学)	1.03	平成15年度	同上	
臨床心理学科	4	20	-	80	学士 (臨床心理学)	1.00	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
創造工学部									
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	学士 (工学)	1.05	平成30年度	香川県高松市林町2217番地20	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
工学部									
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成15年度	香川県高松市林町2217番地20	平成30年より学生募集停止
信頼性情報システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成24年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
材料創造工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
農学部 応用生物科学科	4	150	-	600	学士 (農学)	1.04	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	
教育学研究科 修士課程									
学校教育専攻	2	12	-	24	修士 (教育学)	0.70	平成15年度	香川県高松市幸町1 番1号	
教科教育専攻	2	18	-	36		0.49	平成15年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14		0.71	平成15年度	同上	
専門職学位課程 高度教職実践専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.99	平成28年度	同上	
法学研究科 修士課程									
法律学専攻	2	8	-	16	修士 (法学)	0.68	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
経済学研究科 修士課程									
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.80	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
医学系研究科 修士課程									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.55	平成15年度	香川県木田郡三木町 大字池戸1750番地1	
博士課程 機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.04	平成28年度	同上	平成27年度事前伺い 平成28年4月設置
工学研究科 博士前期課程									
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.74	平成15年度	香川県高松市林町 2217番地20	
信頼性情報システム工学 専攻	2	24	-	48		1.45	平成15年度	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.55	平成15年度	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		2.02	平成15年度	同上	
博士後期課程									
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.33	平成16年度	同上	
信頼性情報システム工学 専攻	3	7	-	21		0.09	平成16年度	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.73	平成16年度	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.46	平成16年度	同上	

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
農学研究科									
修士課程									
生物資源生産学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	平成30年より学生 募集停止
生物資源利用学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
希少糖科学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
応用生物・希少糖科学専攻	2	60	-	120	修士 (農学)	0.95	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い 平成30年4月設置
地域マネジメント研究科									
専門職学位課程									
地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	平成16年度	香川県高松市幸町2 番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず, 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 経済学科>【昼間コース】

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	Ranade R. R. <平成30年4月> 経済数学 観光経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	佐藤 忍 <平成30年4月> 歴史の中の21世紀 社会政策A 社会政策B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	藤村 和宏 <平成30年4月> マーケティング論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	久松 博之 <平成30年4月> 統計学(全学共通) 統計学入門 統計学(学部専門) 計量経済学I 計量経済学II プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	姚 峰 <平成30年4月> 統計学入門 統計学(学部専門) アジア経済論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	金 徳謙 <平成30年4月> 地域調査法 観光学概論 観光政策論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	齊藤 和也 ※平成31年3月退職予定 <平成30年4月> 大学入門ゼミ
専任	教授	大野 拓行 ※平成32年3月退職予定 <平成30年4月> 大学入門ゼミ 情報リテラシー
専任	教授	Ranade R. R. <平成30年4月> 経済学 経済数学 観光経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	佐藤 忍 <平成30年4月> 社会政策A 社会政策B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	藤村 和宏 <平成30年4月> マーケティング論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	久松 博之 <平成30年4月> 大学入門ゼミ 統計学入門 統計学 計量経済学I 計量経済学II プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	姚 峰 <平成30年4月> 統計学(全学共通) 統計学入門 統計学(学部専門) アジア経済論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	井上 善弘 <平成30年4月>
		監査論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	水野 康一 <平成30年4月>
		グローバル社会と異文化理解 Communicative English I Communicative English II Communicative English IV 異文化間コミュニケーション論 外国語演習 I 外国語演習 II プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	朴 鏡杓 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 管理会計論 コスト・マネジメント論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	横山 佳充 <平成30年4月>
		情報リテラシー 統計学入門 統計学 経済統計 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	安井 敏晃 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ リスクと保険 保険システム論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	原 直行 <平成30年4月>
		地域理解(講義) 地域理解(実践) 社会調査法 地域活性化論 エコツーリズム論 地域活性化プロジェクト I 地域活性化プロジェクト II 地域活性化プロジェクト III プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	朴 恩芝 <平成30年4月>
		会計学総論 株式会社会計 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	井上 善弘 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 監査論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	水野 康一 <平成30年4月>
		グローバル社会と異文化理解 Communicative English I Communicative English II Communicative English IV 異文化間コミュニケーション論 外国語演習 I 外国語演習 II プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	朴 鏡杓 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 管理会計論 コスト・マネジメント論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	横山 佳充 <平成30年4月>
		統計学入門 統計学 経済統計 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	安井 敏晃 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ リスクと保険 保険システム論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	原 直行 <平成30年4月>
		地域理解(講義) 地域理解(実践) 社会調査法 地域活性化論 エコツーリズム論 地域活性化プロジェクト I 地域活性化プロジェクト II 地域活性化プロジェクト III プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	朴 恩芝 <平成30年4月>
		会計学総論 株式会社会計 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	古川 尚幸 <平成30年4月>
		生命と環境 地域理解(実践) 大学入門ゼミ 環境システム論 商品システム論 資源エネルギー論 商品実験 地域活性化プロジェクトⅠ 地域活性化プロジェクトⅡ 地域活性化プロジェクトⅢ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	宮脇 秀貴 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 簿記入門 原価会計論 原価計算論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	宮島 美花 <平成30年4月>
		グローバル社会と異文化理解 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 社会調査法 グローバル社会概論 アジア社会論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	長山 貴之 <平成30年4月>
		財政学A 財政学B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	岡田 徹太郎 <平成30年4月>
		経済政策 アメリカ経済論 プロゼミナール 現代経済社会事情 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	沖 公祐 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	園部 裕子 <平成30年4月>
		グローバル社会と異文化理解 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語会話Ⅲ 社会調査法 国際社会学 ヨーロッパ社会論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	古川 尚幸 <平成30年4月>
		生命と環境 大学入門ゼミ 環境システム論 商品システム論 資源エネルギー論 商品実験 地域活性化プロジェクトⅠ 地域活性化プロジェクトⅡ 地域活性化プロジェクトⅢ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	宮脇 秀貴 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 簿記入門 原価会計論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	宮島 美花 <平成30年4月>
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 社会調査法 グローバル社会概論 アジア社会論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授 H30.4.1 教授昇任	長山 貴之 <平成30年4月>
		文化と科学・技術 財政学A 財政学B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	岡田 徹太郎 <平成30年4月>
		経済政策 アメリカ経済論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	沖 公祐 <平成30年4月>
		政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	園部 裕子 <平成30年4月>
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語会話Ⅲ 社会調査法 国際社会学 ヨーロッパ社会論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専任	教授	小宮 一高 ＜平成30年4月＞
		流通システム論A 流通システム論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	青木 宏之 ＜平成30年4月＞
		人的資源管理論A 人的資源管理論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	加藤 美穂子 ＜平成30年4月＞
		アメリカ経済論 福祉経済論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	持田 めぐみ ＜平成30年4月＞
		大学入門ゼミ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 上級マクロ経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	張 暁紅 ＜平成30年4月＞
		書物との出会い 現代企業論 経営史 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	星野 良明 ＜平成30年4月＞
		大学入門ゼミ 経済学入門 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 上級ミクロ経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	繁本 知宏 ＜平成30年4月＞
		簿記入門 財務会計論A 財務会計論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	金澤 忠信 ＜平成30年4月＞
		グローバル社会と異文化理解 大学入門ゼミ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語会話Ⅲ 比較近代化論 ヨーロッパ文化論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専任	教授	青木 宏之 ＜平成30年4月＞
		大学入門ゼミ 人的資源管理論A 人的資源管理論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授	加藤 美穂子 ＜平成30年4月＞
		アメリカ経済論 福祉経済論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授 H30.4.1 教授昇任	持田 めぐみ ＜平成30年4月＞
		歴史の中の21世紀 マクロ経済学Ⅰ 上級マクロ経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	教授 H30.4.1 教授昇任	張 暁紅 ＜平成30年4月＞
		現代企業論 経営史 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	星野 良明 ＜平成30年4月＞
		経済学入門 ミクロ経済学Ⅰ 上級ミクロ経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	繁本 知宏 ＜平成30年4月＞
		簿記入門 財務会計論A 財務会計論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	金澤 忠信 ＜平成30年4月＞
		大学入門ゼミ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語会話Ⅲ 比較近代化論 ヨーロッパ文化論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	藤原 敦志 <平成30年4月>
		金融論Ⅰ 金融論Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	松岡 久美 <平成30年4月>
		歴史の中の21世紀 大学入門ゼミ 経営組織論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	向 渝 <平成30年4月>
		グローバル経営論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	天谷 研一 <平成30年4月>
		経済数学入門 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 上級ミクロ経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	山本 裕 <平成30年4月>
		書物との出会い 歴史学 経済史入門 日本社会経済史 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	嘉本 慎介 <平成30年4月>
		経営財務論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	趙 命来 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ マーケティング論A グローバル・マーケティング論 サービス・マーケティング論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	宮崎 浩一 <平成30年4月>
		経済学 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 上級マクロ経済学 現代経済社会事情 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	藤原 敦志 <平成30年4月>
		歴史の中の21世紀 金融論Ⅰ 金融論Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	松岡 久美 <平成30年4月>
		歴史の中の21世紀 経営組織論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	向 渝 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ グローバル経営論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	天谷 研一 <平成30年4月>
		経済数学入門 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 上級ミクロ経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	山本 裕 <平成30年4月>
		経済史入門 日本社会経済史 現代経済社会事情 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	嘉本 慎介 <平成30年4月>
		歴史の中の21世紀 経営財務論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	趙 命来 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ マーケティング論A グローバル・マーケティング論 サービス・マーケティング論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	宮崎 浩一 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 経済学入門 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 上級マクロ経済学 現代経済社会事情 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	西成 典久 <平成30年4月>
		地域理解(実践) まちづくり論 地域活性化プロジェクトⅠ 地域活性化プロジェクトⅡ 地域活性化プロジェクトⅢ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	緒方 宏海 <平成30年4月>
		グローバル社会と異文化理解 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 社会調査法 文化人類学 アジア文化論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	柴田 明 <平成30年4月>
		企業倫理 経営学史 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	大杉 奉代 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 経営戦略論 中小企業経営論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	細見 正樹 <平成30年4月>
		調査データ分析Ⅰ 調査データ分析Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	川端 美都子 <平成30年4月>
		グローバル社会と異文化理解 大学入門ゼミ Communicative EnglishⅠ Communicative EnglishⅡ Communicative EnglishⅢ アメリカ社会文化論 外国語演習Ⅰ 外国語演習Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	高橋 昂輝 <平成30年4月>
		地理学 大学入門ゼミ 観光地理学 地域研究論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授 H30.5.1 教授昇任	西成 典久 <平成30年4月>
		まちづくり論 地域活性化プロジェクトⅠ 地域活性化プロジェクトⅡ 地域活性化プロジェクトⅢ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	緒方 宏海 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 社会調査法 文化人類学 アジア文化論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授	大杉 奉代 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ 経営戦略論 中小企業経営論 現代経済社会事情 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授 H30.4.1 准教授昇任	細見 正樹 <平成30年4月>
		経営管理論 調査データ分析Ⅰ 調査データ分析Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	准教授 H29.6.1 准教授昇任	川端 美都子 <平成30年4月>
		大学入門ゼミ Communicative EnglishⅠ Communicative EnglishⅡ Communicative EnglishⅢ アメリカ社会文化論 外国語演習Ⅰ 外国語演習Ⅱ プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	高橋 昂輝 <平成30年4月>
		地理学 大学入門ゼミ 観光地理学 地域研究論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	講師	新規採用A <平成31年4月採用予定>
		公共経済学 地域経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用B <平成31年4月採用予定>
		経営管理論 イノベーション論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用C <平成31年4月採用予定>
		ヨーロッパ経済論 国際経済学A 国際経済学B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用D <平成31年4月採用予定>
		金融政策I 金融政策II プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用E <平成31年4月採用予定>
		観光産業論 国際観光論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
兼任	高松大学 教授	WILLIAMS R T <平成32年4月>
		ビジネス英語I ビジネス英語II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	講師	新規採用A <平成31年4月採用予定>
		公共経済学 地域経済学 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用B <平成31年4月採用予定>
		イノベーション論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用C <平成31年4月採用予定>
		ヨーロッパ経済論 国際経済学A 国際経済学B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用D <平成31年4月採用予定>
		金融政策I 金融政策II プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	新規採用E <平成31年4月採用予定>
		観光産業論 国際観光論 観光政策論 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	後任補充 <平成31年4月採用予定>
		流通システム論A 流通システム論B プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
専任	講師	後任補充 <平成30年10月1日採用予定 候補者決定済>
		企業倫理 経営学史 プロゼミナール 演習 個別演習 卒業論文
兼任	高松大学 教授	WILLIAMS R T <平成32年4月>
		ビジネス英語I ビジネス英語II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任		穴吹 忠義 <平成31年4月>
		商業教育法 商業授業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任		穴吹 忠義 <平成31年4月>
		商業教育法 商業授業研究
兼任	広島修道 大学教授	金 徳謙 <平成30年4月>
		地域調査法 観光学概論

- (注)
- 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

5 教員組織の状況

<経済学部 経済学科>【夜間主コース】

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	佐藤 忍 <平成30年4月> 社会政策
専任	教授	姚 峰 <平成30年4月> アジア経済論
専任	教授	金 徳謙 <平成30年4月> 観光学
専任	教授	井上 善弘 <平成30年4月> 企業会計A 企業会計B
専任	教授	安井 敏晃 <平成30年4月> リスク・マネジメント論
専任	教授	横山 佳充 <平成30年4月> 情報リテラシー 統計学
専任	教授	原 直行 <平成30年4月> 地域活性化論

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	井上 貴照 ※平成31年3月退職予定 <平成30年4月> 国際経済学
専任	教授	藤井 宏史 ※平成31年3月退職予定 <平成30年4月> 経済学入門B
専任	教授	大野 拓行 ※平成32年3月退職予定 <平成30年4月> 情報リテラシー
専任	教授	佐藤 忍 <平成30年4月> 社会政策
専任	教授	姚 峰 <平成30年4月> アジア経済論
専任	教授	安井 敏晃 <平成30年4月> リスク・マネジメント論
専任	教授	横山 佳充 <平成30年4月> 統計学
専任	教授	朴 鏡杓 <平成30年4月> 企業会計B
専任	教授	原 直行 <平成30年4月> 地域活性化論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	古川 尚幸 <平成30年4月> 環境システム論
専任	教授	宮島 美花 <平成30年4月> 社会と文化
専任	准教授	長山 貴之 <平成30年4月> 財政学
専任	教授	岡田 徹太郎 <平成30年4月> 経済政策
専任	教授	小宮 一高 <平成30年4月> 流通マーケティング論
専任	教授	青木 宏之 <平成30年4月> 大学入門ゼミ 人的資源管理論
専任	教授	加藤 美穂子 <平成30年4月> 福祉経済論 演習 I
専任	准教授	持田 めぐみ <平成30年4月> 経済学入門B
専任	准教授	張 曉紅 <平成30年4月> 現代企業論
専任	准教授	繁本 知宏 <平成30年4月> 会計学
専任	准教授	金澤 忠信 <平成30年4月> ヨーロッパ文化論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	教授	朴 恩芝 <平成30年4月> 企業会計A
専任	教授	古川 尚幸 <平成30年4月> 環境システム論
専任	教授	宮島 美花 <平成30年4月> グローバル社会と異文化理解 社会と文化
専任	教授 H30.4.1 教授昇任	長山 貴之 <平成30年4月> 財政学
専任	教授	岡田 徹太郎 <平成30年4月> 経済政策
専任	教授	園部 裕子 <平成30年4月> ヨーロッパ文化論
専任	教授	青木 宏之 <平成30年4月> 人的資源管理論 経営管理論
専任	教授	加藤 美穂子 <平成30年4月> 福祉経済論 演習 II
専任	教授 H30.4.1 教授昇任	持田 めぐみ <平成30年4月> 演習 I
専任	教授 H30.4.1 教授昇任	張 曉紅 <平成30年4月> 現代企業論
専任	准教授	繁本 知宏 <平成30年4月> 会計学
専任	准教授	金澤 忠信 <平成30年4月> ヨーロッパ文化論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	藤原 敦志 <平成30年4月>
		金融論
専任	准教授	松岡 久美 <平成30年4月>
		経営管理論
専任	准教授	天谷 研一 <平成30年4月>
		経済学入門A 数理経済学
専任	准教授	山本 裕 <平成30年4月>
		日本社会経済史
専任	准教授	嘉本 慎介 <平成30年4月>
		演習Ⅱ
専任	准教授	柴田 明 <平成30年4月>
		企業倫理
専任	准教授	大杉 奉代 <平成30年4月>
		経営戦略論
専任	講師	新規採用A <平成31年4月採用予定>
		公共経済学
専任	講師	新規採用B <平成31年4月採用予定>
		イノベーション論
専任	講師	新規採用C <平成31年4月採用予定>
		国際経済学
専任	講師	新規採用D <平成31年4月採用予定>
		金融政策

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	准教授	藤原 敦志 <平成30年4月>
		金融論
専任	准教授	天谷 研一 <平成30年4月>
		経済学入門A 数理経済学
専任	准教授	山本 裕 <平成30年4月>
		日本社会経済史
専任	准教授	嘉本 慎介 <平成30年4月>
		歴史の中の21世紀
専任	准教授	趙 命来 <平成30年4月>
		流通マーケティング論
専任	准教授	大杉 奉代 <平成30年4月>
		経営戦略論
専任	講師	新規採用A <平成31年4月採用予定>
		公共経済学
専任	講師	新規採用B <平成31年4月採用予定>
		イノベーション論
専任	講師	新規採用D <平成31年4月採用予定>
		金融政策

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	藤井 篤 <平成30年4月> 政治史
兼任	教授	金 宗郁 <平成30年4月> 行政学
兼任	教授	石井 一也 <平成30年4月> アジア・太平洋社会論
兼任	准教授	溝淵 彰 <平成30年4月> 商法総則・商法行為 会社法Ⅰ 会社法Ⅱ
兼任	教授	肥塚 肇雄 <平成30年4月> 保険法
兼任	准教授	法・新任 <平成30年4月> 民法Ⅱ
兼任	教授	藤田 寿夫 <平成30年4月> 民法Ⅲ
兼任	教授	青木 文 <平成30年4月> 租税法
兼任	准教授	細谷 越史 <平成30年4月> 社会保障法 労働法
兼任	教授	新井 信之 <平成30年4月> 法学入門
兼任	高松大学 講師	岡本 文彦 <平成30年4月> 経営学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	講師	後任補充 <平成30年10月1日採用予定 候補者決定済> 企業倫理
兼任	教授	藤井 篤 <平成30年4月> 政治史
兼任	教授	金 宗郁 <平成30年4月> 行政学
兼任	教授	石井 一也 <平成30年4月> アジア・太平洋社会論
兼任	准教授	溝淵 彰 <平成30年4月> 商法総則・商法行為 会社法Ⅰ 会社法Ⅱ
兼任	教授	肥塚 肇雄 <平成30年4月> 保険法
兼任	准教授	吉原 知志 <平成30年4月> 民法Ⅱ
兼任	教授	藤田 寿夫 <平成30年4月> 民法Ⅲ
兼任	教授	青木 文 <平成30年4月> 租税法
兼任	教授	細谷 越史 <平成30年4月> 社会保障法 労働法
兼任	教授	新井 信之 <平成30年4月> 法学入門
兼任	高松大学 講師	岡本 文彦 <平成30年4月> 経営学

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任		学外講師配置予定 <平成31年4月>
		特別講義
兼任		学外講師配置予定 <平成31年4月>
		生産管理システム論
兼任	成蹊大学 准教授	井上 正也 <平成31年4月>
		国際関係論

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任		学外講師配置予定 <平成31年4月>
		特別講義
兼任		学外講師配置予定 <平成31年4月>
		生産管理システム論
兼任	成蹊大学 准教授	井上 正也 <平成31年4月>
		国際関係論
兼任	広島修道 大学教授	金 徳謙 <平成30年4月>
		観光学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】(昼間コース)

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年4月1日 金徳謙教授辞任(未就任)のため平成30年4月に兼任教員として採用、平成31年4月に後任補充となる専任教員を採用予定。</li> <li>平成30年4月1日 小宮一高教授辞任(未就任)のため平成31年4月に専任教員を採用予定(後任補充)</li> <li>平成30年4月1日 柴田明准教授辞任(未就任)のため平成30年10月に専任教員を採用予定(後任補充)</li> <li>平成30年4月1日 長山貴之、持田めぐみ、張曉紅 教授昇任</li> <li>平成30年5月1日 西成典久 教授昇任</li> <li>平成29年6月1日 川端美都子 准教授昇任</li> <li>平成30年4月1日 細見正樹 准教授昇任</li> <li>平成30年4月1日 カリキュラム内容と教員の専門性を鑑み、担当教員を追加【齊藤和也教授(平成31年3月定年退職予定)、大野拓行教授(平成32年3月定年退職予定)】</li> <li>平成30年4月1日 カリキュラム内容と教員の専門性を鑑み、担当教員を変更【授業科目: 情報リテラシー(大野)、経済学(Ranade, R.R)、大学入門ゼミ(久松、井上(善)、青木、向、宮崎(緒方)、統計学(全学共通)(姚)、文化と科学・技術(長山)、歴史の中の21世紀(持田、藤原、嘉本)、経営管理論(細見)、経済学入門(宮崎)】</li> <li>平成30年4月1日 教員の負担軽減を考慮し、担当科目を変更</li> <li>平成30年4月1日 佐藤忍(1科目減)、横山佳充(1科目減)、古川尚幸(1科目減)、宮脇秀貴(1科目減)、宮島美花(1科目減)、岡田徹太郎(1科目減)、沖公祐(1科目減)、園部裕子(1科目減)、持田めぐみ(1科目減)、張曉紅(1科目減)、星野良明(2科目減)、金澤忠信(1科目減)、松岡久美(1科目減)、山本裕(1科目減)、西成典久(1科目減)、川端美都子(1科目減)</li> </ul>
--

【平成30年度】(夜間主コース)

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年4月1日 金徳謙教授辞任(未就任)のため平成30年4月に兼任教員として採用、平成31年4月に後任補充となる専任教員を採用予定。</li> <li>平成30年4月1日 小宮一高教授辞任(未就任)のため担当科目を趙命来准教授に変更(流通マーケティング論)</li> <li>平成30年4月1日 柴田明准教授辞任(未就任)のため平成30年10月に専任教員を採用予定(後任補充)</li> <li>平成30年4月1日 長山貴之、持田めぐみ、張曉紅 教授昇任</li> <li>平成30年4月1日 カリキュラム内容と教員の専門性を鑑み、担当教員を追加【井上貴照教授(平成31年3月定年退職予定)、藤井宏史教授(平成31年3月定年退職予定)、大野拓行教授(平成32年3月定年退職予定)、朴鏡杓教授、朴恩芝教授、園部裕子教授】</li> <li>平成30年4月1日 カリキュラム内容と教員の専門性を鑑み、担当教員を変更【授業科目: 国際経済学(井上(貴))、経済学入門B(藤井)、情報リテラシー(大野)、企業会計B(朴鏡)、企業会計B(朴鏡)、企業会計A(朴(恩))、グローバル社会と異文化理解(宮島)、ヨーロッパ文化論(園部)、経営管理論(青木)、演習II(加藤)、演習I(持田)、歴史の中の21世紀(嘉本)】</li> </ul>
--

- (注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を乗せずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16	8
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
22	18	8	0	48 <small>※記載ミスによる修正</small>	26	15	1	0	42	25	15	8	0	48
(25)	(16)	(1)	(0)	(42)						[ 3 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「**現在(報告書提出時)の完成年度時の計画**」には、「**現在(報告書提出時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{48}{48} = 100\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{42} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	金 徳謙	選択	地域調査法	②	他大学へ就任のため (30)				
			選択	観光学概論	②					
			選択	観光政策論	③					
			選択	観光学（夜間主）	②					
2	教授	小宮 一高	選択	流通システム論A	③	他大学へ就任のため (30)				
			選択	流通システム論B	③					
			選択	流通マーケティング論（夜間主）	①					
3	准教授	柴田 明	選択	企業倫理	①	他大学へ就任のため (30)				
			選択	経営学史	①					
			選択	企業倫理（夜間主）	①					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	4	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	4	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
該当なし										
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	4	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	4	科目	計	3	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{48} = 6.25 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
					該当なし					
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員を辞任した金徳謙教員の担当予定科目「地域調査法」、「観光学概論」及び「観光学(夜間主)」については、1年次開講のため金教員がそのまま兼任として担当する。</li> <li>また、「観光政策論」については、3年次開講のため、それまでに後任補充する予定である。</li> <li>・ 専任教員を辞任した小宮一高教員の担当予定科目「流通システム論A」及び「流通システム論B」については、2年次開講及び3年次開講のため、それまでに後任を補充する予定である。「流通マーケティング論(夜間主)」は専任教員が担当する。</li> <li>・ 専任教員を辞任した柴田明教員の担当予定科目「企業倫理」、「経営学史」及び「企業倫理(夜間主)」については、後任補充済み。</li> </ul>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     該当なし                 </div>		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <経済学部 経済学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>■卒業要件及び履修方法</p> <p>【昼間主コース】</p> <p>○全学共通科目 主題科目 8 単位以上、学問基礎科目 6 単位以上、リテラシー科目 4 単位（情報リテラシー、大学入門ゼミ）、外国語科目 10 単位以上、自由科目 4 単位以上 合計 32 単位以上</p> <p>○学部開設科目 演習等 10 単位、学部基礎科目 22 単位以上、学部専門科目 20 単位以上、コース専門科目 20 単位以上 合計 92 単位以上</p> <p>昼間コース 総計 124 単位以上</p> <p>【夜間主コース】</p> <p>○全学共通科目 主題科目 8 単位以上、学問基礎科目 8 単位以上、外国語科目 6 単位以上 合計 28 単位以上</p> <p>○学部開設科目 演習 I 4 単位、学部基礎科目 6 単位以上、コース専門科目 66 単位以上、選択科目 20 単位以上 合計 96 単位以上</p> <p>夜間主コース 総計 124 単位以上</p> <p>■夜間主コースにおける放送大学開講科目の利用</p> <p>全学共通科目中の学問基礎科目内に「放送大学開講科目」を配置し、最大 4 単位まで、卒業要件として認定。</p> <p>全学共通科目においては、放送大学開講科目の単位認定、学部開設科目においては、昼間主コース開講科目の履修、他大学開設科目の履修を認めることにより、社会人学生に対する時間的便益性を提供することを目的とする。</p>	<p>左記の経済学部経済学科昼間コースの卒業要件について、下記とおり変更した。</p> <p>○学部開設科目 演習等 10 単位、学部基礎科目 22 単位以上（内訳は、次のとおりとする。経済系 8 単位、経営系 8 単位、統計・調査系 6 単位）、学部専門科目 20 単位以上（内訳は、次のとおりとする。経済・政策分析 4 単位、会計・ファイナンス 4 単位、経営・イノベーション 4 単位、観光・地域振興 4 単位、グローバル社会経済 4 単位）、コース専門科目 20 単位以上、選択科目 20 単位以上 合計 92 単位以上</p> <p>「学部基礎科目 22 単位以上」及び、「学部専門科目 20 単位以上」の内訳を学生に対して明示することとした。内訳を明示することで、修学の内容・過程に便益を図ることとなったと判断する。</p> <p>左記については、下記のとおり変更する。</p> <p>「放送大学開講科目」を、全学共通科目から、学部開設科目へ移設することとした。 放送大学の開講科目の各内容や対象候補科目の精査、全学共通担当教員の意見を踏まえ、移設が適正との結論を得た。</p> <p>社会人学生に対する時間的便益性の確保策は、設置計画のとおり、3 つの方策を維持しており、学生の履修に大きな支障は生じていない。また、履修指導を厳とした。</p>

(注) ・ 1～6 の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>実施・統括・・・経済学部運営会議 FD の内容等の検討・・・下記の委員会</p> <p>教務委員会・・・教育全般について</p> <p>学生生活委員会・・・学生生活指導について</p> <p>入試委員会・・・入試の実施等について</p>
---

- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
経済学部運営会議（実施・統括）の開催については下記のとおり  
平成29年度開催回数：12回（原則毎月1回開催）  
参加者：経済学部長、教育研究評議会評議員、経済学部副学部長、各学科長（いずれも全員参加で開催）

- c 委員会の審議事項等  
経済学部運営会議（実施・統括）の審議事項例（抜粋）は下記のとおり  
平成29年4月10日開催  
議題5 新任教員の研修プログラム関連について  
平成29年7月10日開催  
議題2 アクティブラーニングに関するFD開催について  
議題5 新任教員研修プログラムについて  
平成29年9月11日開催  
議題10 経済学部新任教員研修プログラムについて  
平成29年11月6日開催  
議題7 平成29年度のFD計画について  
平成30年2月28日開催  
報告2 大学院FDについて

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・ 特定のテーマについて、発表者を設定、発表の後、参加者による議論を実施する。
- ・ 講師を招き、実績的なファシリテーションスキルを学修。

### b 実施方法

講演会形式、討議やワークショップを主とする。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度の実施状況は下記のとおりである。平成30年度以降も同様の要領で実施予定。

- ・ 「アクティブラーニングを促すファシリテーション講座」 9月19日開催 30名
- ・ 「バリアフリーに関するFD」 11月29日開催 39名
- ・ 「新カリキュラムに関するFDについて」及び「地域と連携した教育に関するFD」12月13日開催 47名
- ・ 「大学院に関するFD」 2月28日開催 43名
- ・ 「入試に関するFD」 2月28日開催 43名

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度の改組に伴い、アクティブラーニング形式の授業を増加させた。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

各学期末毎に各授業に対するアンケートを実施している。別途に、教育課程点検のため、カリキュラムアンケートも実施している。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果取りまとめ終了後、教員には個別シートを配布し、学生に対しては掲示等により公表。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教員の配置、教育課程の編成、施設・設備の整備等を行い、平成30年4月に開設した。  
平成30年度は昼間コースで入学定員240人に対し252人、夜間主コースで入学定員10人に対し5人の入学者を得た。  
開設初年度としては、予定どおり進行していると考えられる。  
今後の予定としては、学年進行によって生じる課題について洗い出しを行い、予測される課題に適切に対応できるように対応策を検討していきたい。  
未就任の教員が生じたが、今後の後任補充計画は既に立案し、当該教員が担当予定であった授業科目については、計画どおり実施できる見込みである。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

平成33年度に自己点検評価報告書（大学全体）を実施・公表（予定）

##### b 公表方法

大学ホームページに公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成34年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 8 月 1 日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。